

検体採取等に関する厚生労働省指定講習会カリキュラム

テ ー マ	検体採取等に伴う厚生労働省指定講習会
目 的	臨床検査技師に検体採取の業務追加に伴う指定講習会
会 期	平成27年1月～平成28年1月 (第1期分)
会 場	全国で実施(開催会場は日臨技ホームページに掲載)
	<p>講習会の目標</p> <p>○臨床検査技師の責任及び業務の範囲を理解し、感染管理及び医療安全に配慮して、適切に検体採取ができる能力を身につける。</p> <p>○検体採取に伴う危険因子を認識し、合併症の発生時に適切に対処できる能力を身につける。</p> <p>○検体採取は医師又は歯科医師の指示の下で行われることを認識し、責任を持って対処する。</p> <p style="text-align: right;">(敬称省略)</p> <p>※時間については一般的な場合を想定しており、開催会場毎にセットされる。</p> <p>第1日目</p> <p>9:00～ 受 付</p> <p>10:00～10:15 オリエンテーション</p> <p>10:15～10:30 開講挨拶 (一社)日本臨床衛生検査技師会 会長 宮島喜文</p> <p>10:30～11:20 臨床検査技師法に関する法的知識及びその責任範囲、医療倫理 講師、厚生労働省 医事課 担当職員</p> <p>11:20～12:20 昼休み</p> <p>12:20～15:25 微生物学的検査等※2(皮膚表在組織病変部等※3)における検体採取(皮膚生検は除く)に必要な知識・技能・態度 ※2(ウイルス、細菌、真菌、スピロヘータ、寄生虫検査等) ※3(膿、丘疹、水泡、膿泡、びらん、鱗屑、粘膜、毛髪、爪等)</p> <p style="text-align: center;">講師</p> <p>(休憩 10)</p> <p>15:35～17:50 微生物学的検査等(糞便検査)における検体採取※4に必要な知識・技能 態度 ※4(糞便が採取できない場合にスワブを用い肛門部から便の直接採取)</p> <p style="text-align: center;">講師</p>

	<p>第2日目</p> <p>8:30～ 開場</p> <p>9:00～11:15 味覚検査※5、嗅覚検査※6に必要な知識・技能・態度 ※5(電気味覚検査、ろ紙ディスク法による味覚定量検査) ※6(基準嗅覚検査(T&T オルファクトメーターによる検査)、静脈性嗅覚検査(静脈へのアリナミン注射薬の注射行為は除く)) 講師</p> <p>11:15～12:15 昼休み</p> <p>12:15～15:20 微生物学的検査等(インフルエンザ等)における検体採取※1に必要な知識・技能・態度 ※1(鼻腔拭い液、鼻咽頭拭い液、咽頭拭い液、鼻腔吸引液等の採取) 講師</p> <p>(休憩 10)</p> <p>15:30～16:30 検体採取及び味覚・嗅覚検査のシミュレーション (ビデオ放映及び舌圧子及び綿棒を使用して実技を行う)</p> <p>(休憩 10)</p> <p>16:40～17:30 確認試験 (講習会終了後、習得度の確認を行う。自己採点とする)</p> <p>17:30～ 閉校式</p>
募集人員	開催会場毎に異なる。(日臨技ホームページに掲載)
参加資格	臨床検査技師免許取得者
受講料	<p>会 員 10,000 円 (非会員で受講申込時会員登録される方を含む)</p> <p>非会員 30,000 円 (資料代含む)</p> <p>※ 申し込み後の受講料の返金はいたしません。</p>
申込締切	開催会場毎に設定します。(ホームページに掲載)
申込要領	日臨技ホームページに掲載する。
申込先	<p>日臨技ホームページの指定講習会専用ページからの申し込み。</p> <p>《その他、問い合わせ先》</p> <p>〒143-0016 東京都大田区大森北4-10-7 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 TEL03-3768-4722 FAX03-3768-6722</p>
宿泊	各自で手配していただきます。
主催後	<p>一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会</p> <p>一般社団法人日本病院会、公益社団法人全日本病院協会</p> <p>公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本看護協会、一般社団法人日本臨床検査医学会</p> <p>日本臨床専門医会、チーム医療推進協議会</p>